



虫には血が流れているの、血液型はあるの

血は、どんなはたらきをするか

動物の体で、血はどんな役目をしているのでしょうか。人間のようには、乳動物では、血は肺で、鼻や口から吸った空気(酸素)を受け取り、体中に酸素を配っていくのです。また、腸から吸収した養分を、体中に運びます。

血は赤い色とはかぎらない

虫も、生きていますから、人間と同じように呼吸し、食べた物の養分を、全身に運んでくれるものが必要になります。ですから、人間の血と、同じようなものをもっています。でも、ほとんどが、人間の血のように赤くないのです。

魚、カエルなどの仲間、ほ乳動物などのように、背骨をもつ動物は、みな赤血球をもっているのです。ところが、エビ、カニなどの仲間や、イカ、タコの仲間や、青い血をもっています。赤血球のヘモグロビンのかわりに、ヘモシアニンという青い色素をもっているからです。

人間以外の動物でも血液型がある

人間以外の背骨をもつ動物も、調べてみると、血液型があり、ブタは10匹のうち9匹はA型、残りはO型とか、カメは、ほとんどが、B型に入るといことです。

こん虫も、研究が進めば、血液型のようなものが、わかってくるかもしれません。ただし、同じA型といっても、ブタの血を、人間のA型の血液のかわりににはできません。ブタの血と人間の血とは、同じではないからです。(監修・中山 周平)

